

男子ホッケーU21日本代表チーム

Uttar Pradesh Hockey Junior World Cup Men Lucknow 2016 (IND)

日付	2016年12月8日 11:30~12:50		
場所	インド・ラクナウ	天候	曇り
試合	第1戦	通算結果	日本 0勝1敗

RESULT			
Country		0 - 0	Country
日本	0	(0 - 0)	ニュージーランド
JAPAN		1	New Zealand

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	中上裕規 (GK)			
✓	3	亀山紅葉			
✓	4	谷光未有			
4	5	近藤辰徳			
✓	6	畑野修平			
✓	7	千葉健寛			
	8	稲山巧			
7	10	新井稜			
6	11	亀崎信一			
✓	12	田中海渡			
✓	13	池田瑞			
✓	15	林聡馬			
✓	16	小沢諒 (C)			
✓	17	山崎晃嗣			
10	18	杉山惇士			
✓	21	千田拓美 (GK)			
✓	22	福田健太郎			
6	23	渡辺晃大			
Coach		長屋 恭一			
Manager		三澤 孝康			
UMPIRE		SWEETMAN David (SCO)			

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	MALLON Thomas (GK)			
✓	5	BRYDON David			
✓	6	KEANEY Jonty			
✓	7	MITAI-WELLS Leo			
7	9	HENDRICKSON Hugh			
13	10	O'CONNOR Kieran			
✓	11	LANE Sam	41		
6	12	CAPIZZI Robbie			
✓	13	LOGAN Oliver			
✓	14	READ Brad (C)			
✓	15	NEWMAN Dominic			
✓	16	SARIKAYA Aidan			
4	17	THOMAS Dylan			
46	18	THORN Johnny			
✓	19	WILCOX Mac			
	20	DIXON Dominic (GK)			
✓	23	WOODS Nic			
6	25	HIHA Sam			
Coach		COLLINS Bryce			
Manager		CHURCHILL Lincoln			
UMPIRE		VOU Suolong (CHN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
NZL	55	LOGAN Oriver	PC	0-1

Team	Minute	Name	Action	Score

Uttar Pradesh Hockey Junior World Cup Men Lucknow 2016 初戦の相手は、ニュージーランドである。

日本のセンターパスにより試合が開始される。日本は、高い位置から積極的にプレッシャーをかける。一方ニュージーランドは、ハーフプレスでカウンター狙うスタイルで立ち上がりから両者激しい攻防を繰り広げる。前半4分ニュージーランドの左サイドからのドリブル突破によりPCを与えてしまう。このPCは、フリックシュートが#3亀山の腿にあたり反則で逃れる。前半7分、日本のパスミスからカウンター攻撃を受け、#21GK千田のファインセーブによって得点を許さない。前半13分#23渡辺が左サイドから持ち込みセンターリングをするが#12田中に合わせるがDFにあたりロングコーナーになる。ニュージーランドのハーフプレスに日本は、攻めを急ぎ、パスミスから、16分・17分と立て続けにカウンター攻撃を受けるが相手のシュートミスに助けられる。前半23分、右からのセンターリングで相手DFのトラップミスによりPCを獲得するもこのPCは、#4谷光が豪快に右隅にシュートを放つも相手DFのファインセーブで阻まれてしまう。前半25分#23渡辺が左サイドからドリブル突破によりPCを獲得する。このPCは、相手の反則により再びPC。このPCはトラップミスをするも左サイドにパスを展開し、#11亀崎がリバースシュートを放つがGKにファインセーブされる。その後は、一進一退が続き、0-0で後半へ折り返す。

後半開始早々37分ターンオーバーからチャンスを作り#17山崎が右から突破しヒットシュートを放つがGKに阻止される。その後も一進一退の激しい攻防が続き、両チームともシュートを放つが得点を奪うことができない。ニュージーランドは、55分サークル中央へのセンターリングでDFのミス誘いPCを獲得する。このPCは#13LOGAN Oriverに左上に豪快にフリックシュートを決められ失点する。60分#11亀崎が早いリスタートからのセンターリングでPCを獲得する。このPCは、相手の体の張ったDFで4回連続のPCを得るも最後は、トラップミスでチャンスを逃す。その後も、日本は、幾度となくサークルへ侵入し、チャンスを作るが相手GK中心に堅く守られ、得点を奪うことができない。終了間際の68分#12田中のドリブル突破から、DFの反則を誘いPCを獲得する。このPCは、#4谷光がフリックシュートを放つがDFにあたり再度PC。このPCは、パスサーのボールがそれたが、#16小沢がスィープヒットシュートを放ち、相手DFのスティックにあたってゴールインしたかに思われたが、アップシュートの反則とられてしまう。抗議をしたが得点を認められず、0-1で試合が終了した。選手の調子は悪くなく、PCの決定力の差が敗因となったが選手は最後まで攻めの姿勢を忘れず戦った。次戦の奮起に期待したい。

日本	15	シュート数	8	NZ
	9	PC数	2	

次戦(第2戦) 12月9日 14:00 ~ 日本対スペイン

校閲: 男子U21ヘッドコーチ 長屋 恭一
 記責: 男子U21チームリーダー 穴田 直樹